

生きる社会に



調査の概要

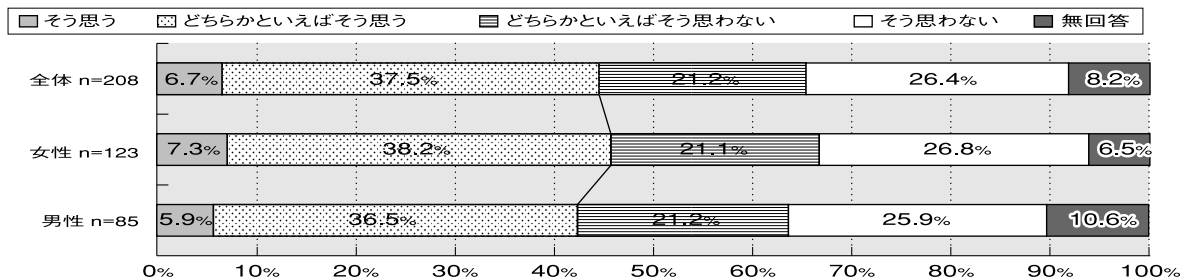
調査対象.....市内在住の20代から60代の市民380人

調査時期.....平成17年9月

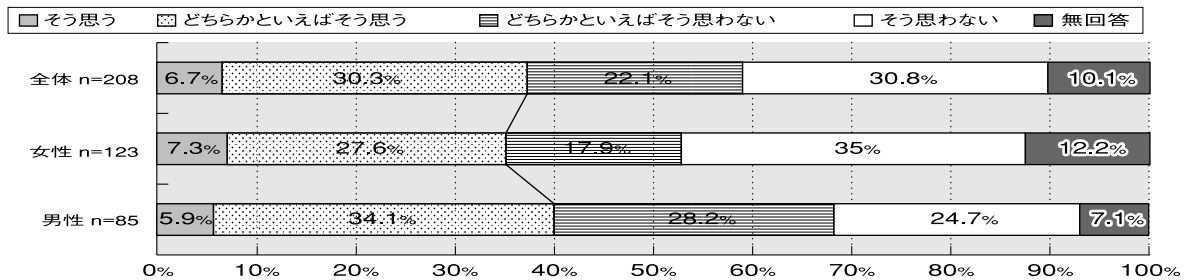
回収結果.....回収数208件 回収率54.7%

役割分担

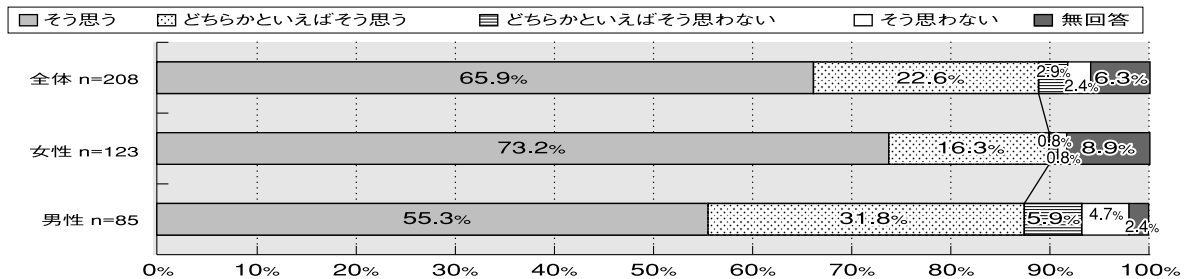
夫は外で仕事をし、妻は家庭を守る



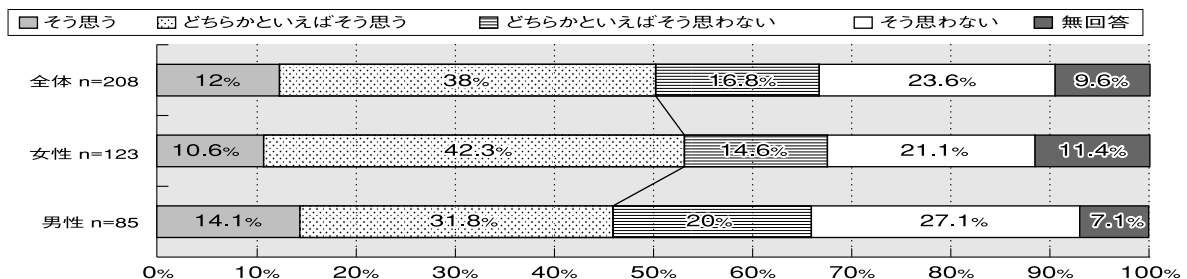
夫も妻も仕事をし、主に妻が家事、育児をきちんとする



夫も妻も仕事をし、共に家庭を守る



女性は結婚したら自分のことより家庭を中心に考える



この設問からは、男女が共に働き家庭を守っていこうとする姿勢がみられます。しかし、「女性は結婚したら家庭を中心に考える」については、男性よりも女性のほうが意識は強い。「夫は外で仕事をし、妻は家庭を守る」というのは、当たり前という考えは根強いですが、「夫も妻も仕事をし、共に家庭を守る」という新しい視点で、88.5%の人が「どちらかといえばそう思う」も含め「そう思う」としています。



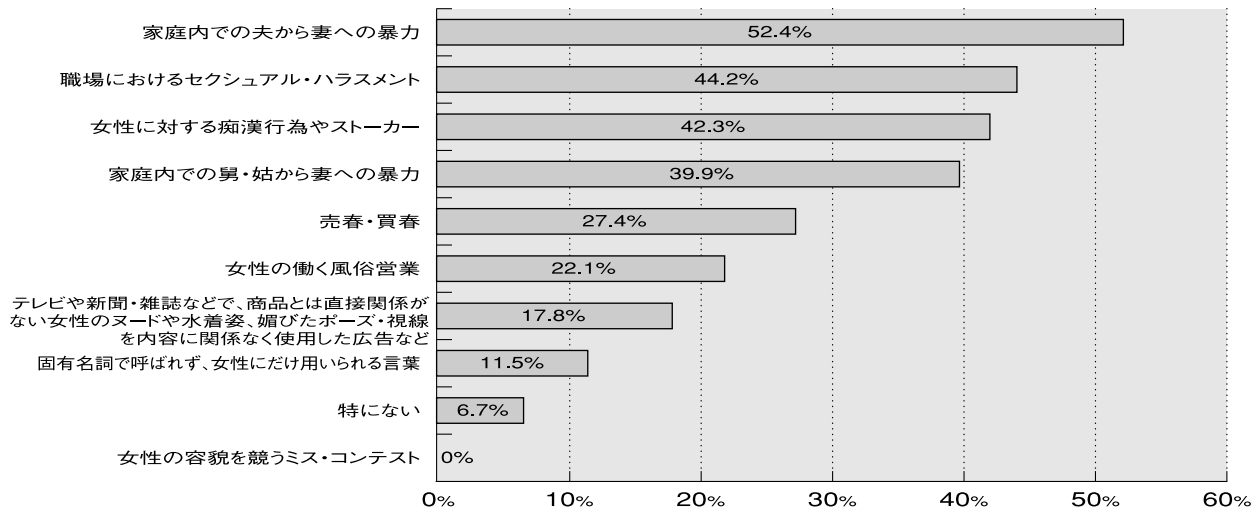


男女が共に

佐渡市では、市民一人ひとりの個性を尊重し、多様な選択を認め合い、個人の能力を十分に発揮できるまちづくりを目指し「男女共同参画推進計画」の策定に取り組んでいます。

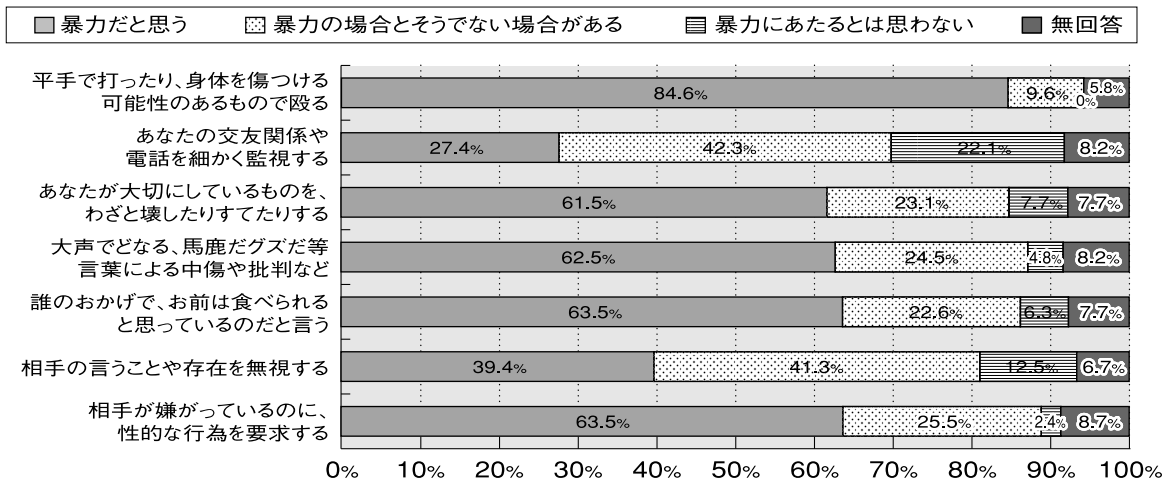
この計画に市民の意識、意見を反映するため、昨年9月に「男女共同参画社会に関する意識調査」を行いました。今回は、夫婦の役割分担と女性の人権、夫婦間の暴力を取り上げ調査結果をお知らせします。

あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。あてはまるものすべてに をつけてください。



「家庭内での夫から妻への暴力」については、約半数近くの人があげており、「職場におけるセクシュアルハラスメント」が44.2%、「女性に対する痴漢行為やストーカー」が42.3%と、女性が身体、心身に対する苦痛と感じている項目が高いことがわかります。女性の人権やドメスティック・バイオレンスに関する認識が浸透していることの表れだと考えられます。

あなたは、次のようなことが夫婦間(事実婚や別居中を含む)で行われた場合、それを暴力だと思いませんか。



身体に直接影響を及ぼすものについては、やはり暴力と考える人が多いようです。身体に直接関与しないものについても「大声でどなる、馬鹿だ、グズだ等言葉による中傷や批判など」言葉に対しても暴力だと感じている人が多い。全体としてドメスティック・バイオレンスに対する認識が明らかに高まっておりDV法やメディア等の効果により、社会的に認知されてきたことが伺えます。

